

令和4年度林業イノベーションハブ構築事業 事業概要

1. 令和4年度事業の施策方針

事業目的である林業界の技術開発、基盤データの環境整備、普及を推進するための調査・助言と、イノベーションを推進する支援組織の創出を目指します

令和4年度事業の目的と実施内容

昨年度を ふまえた 業務目的

- 林業イノベーションハブセンター（森ハブ）は、林業イノベーション現場実装推進プログラムに掲げる2025年を目途とした技術開発、基盤データの環境整備、普及等を着実に進めるため、令和3年度に設置され、将来的に、イノベーション推進に向けた支援機能により技術の現場実装を実現し、林業の課題解決を促進するプラットフォームになることを目指している。
- 令和3年度は新技術/総合戦略、機械開発、地域林業政策、イノベーションエコシステム、知的財産のテーマで検討を行い、林業イノベーション現場実装推進プログラムの更新案を検討した。今年度事業では、昨年度の検討の成果と、林業イノベーション現場実装推進プログラムのアップデート版に基づき、イノベーションエコシステムの普及に至る技術開発プロジェクト数、参画プレイヤー数の増加を目指し、林業におけるイノベーションエコシステムの形成ならびに支援体制の構築を目指す。

実施内容の 要点整理

1

異分野の技術探索・先進技術方策の検討



林業イノベーションの実現に向けた 国の方針や支援方策への助言・支援

- 作成する技術リストや機械開発・森林作業システム方針（案）、ならびにアドバイザーコミッティや分科会での検討を通じて国の開発方針や支援方策への助言、支援を行う。

2

林業課題解決を促進するプラットフォームの形成



技術の現場実装を実現し、 課題解決を促進するプラットフォームの形成

- 技術の現場実装を推進し、新たな技術の開発を創出する、林業界のエコシステムを形成し、コーディネーター人材を核とした森ハブの支援体制やコミュニティを構築する。

2021年

- 「新技術/総合戦略」「機械開発」「地域林業政策」「イノベーションエコシステム」「知的財産」のテーマでの検討
- 森ハブのあり方、機能、将来像、林業イノベーションを推進する仕組み構築の検討 ※当法人にて支援

2022年

- 先進技術の導入促進のための異分野の技術探索や先進技術方策の検討
- 技術開発から普及に至るまでの事業者・地域の活動を専門的な目線から支援する林業エコシステム並びに支援組織の構築

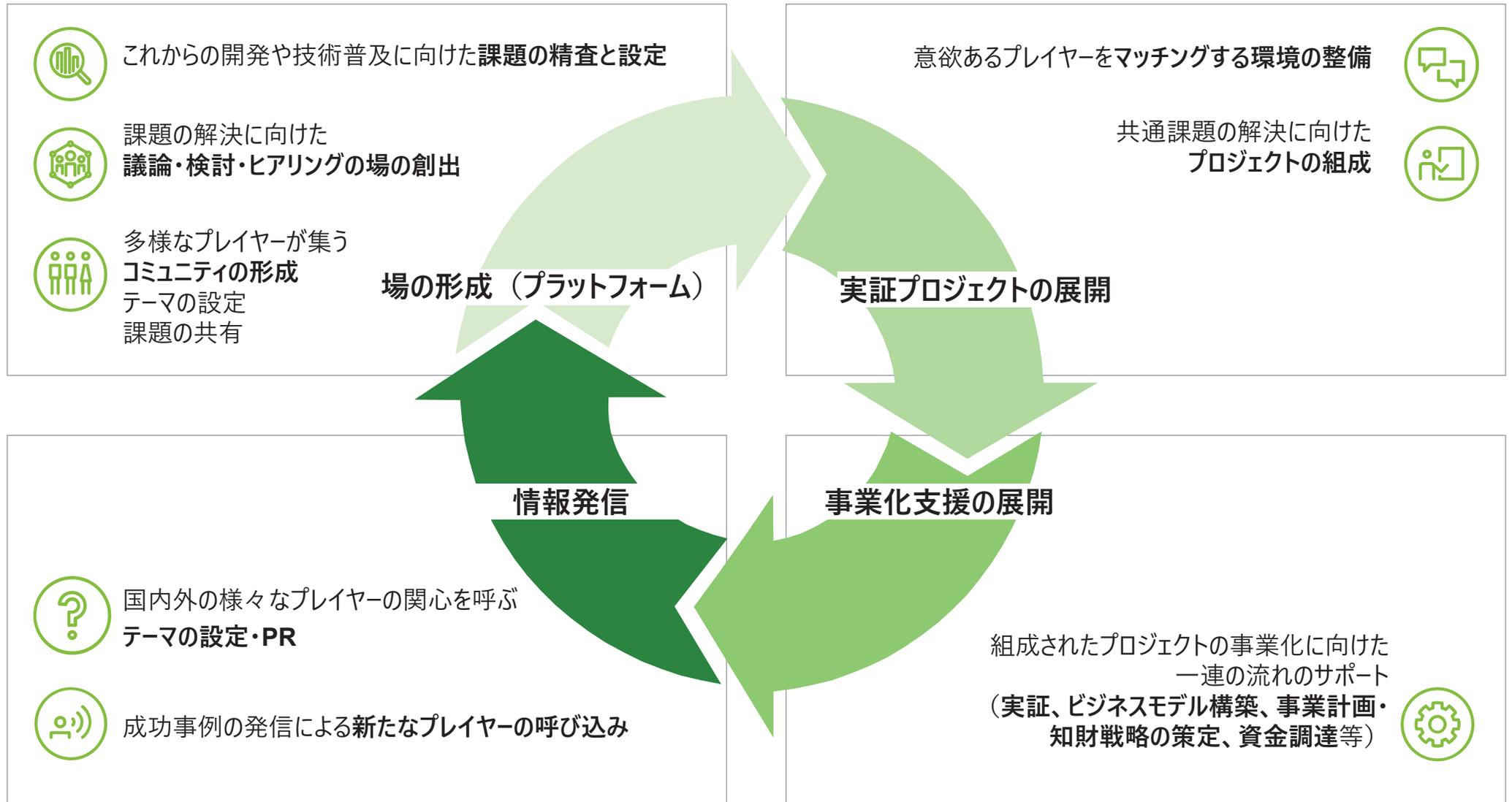
⋮

2025年

**技術開発、基盤データの環境整備、
普及の実現**

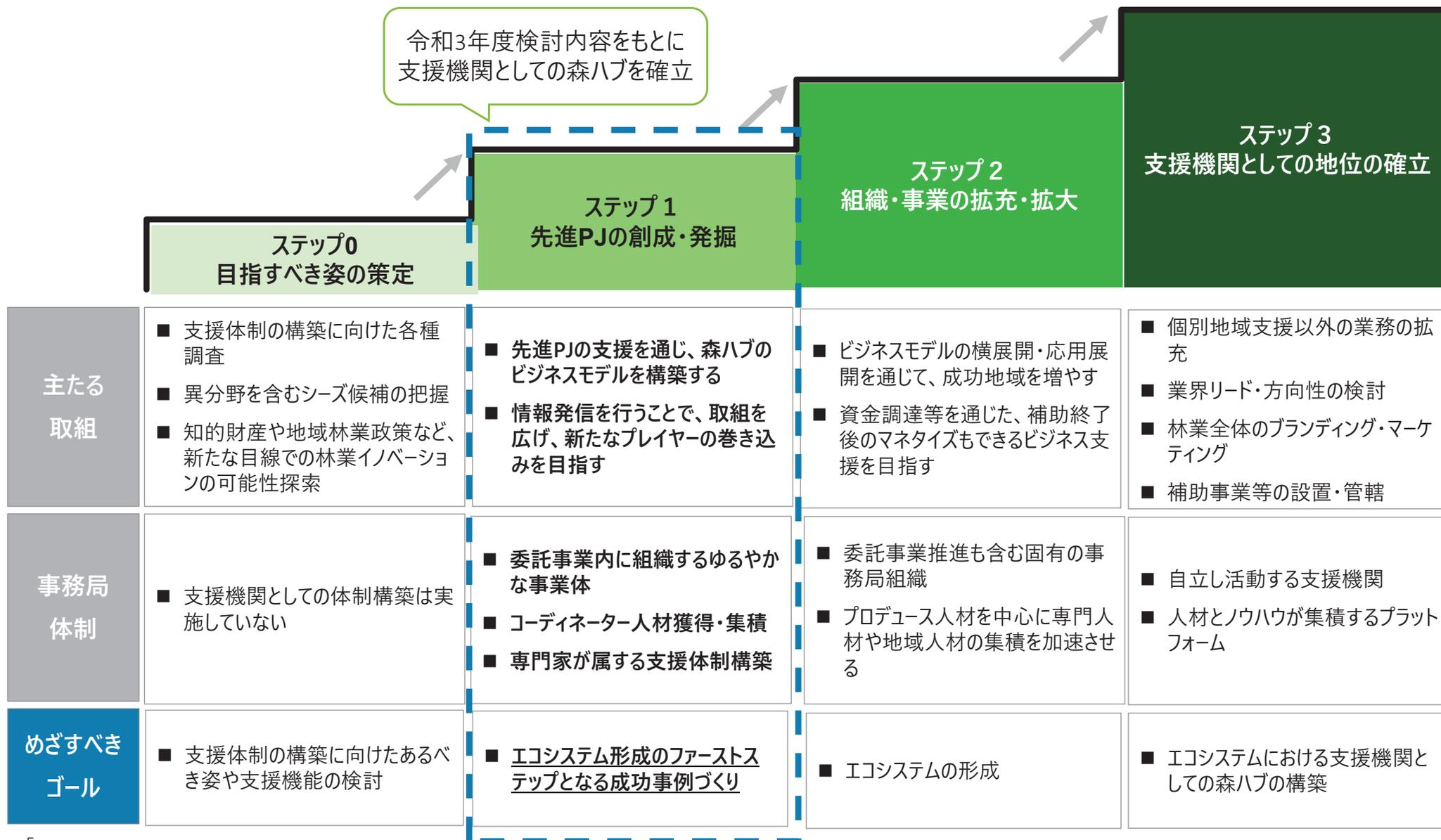
令和3年度事業では、林業界のイノベーションエコシステム形成に向け 先進事例調査をもとに森ハブの目指すべき方向と有すべき機能を検討しました

森ハブの支援内容



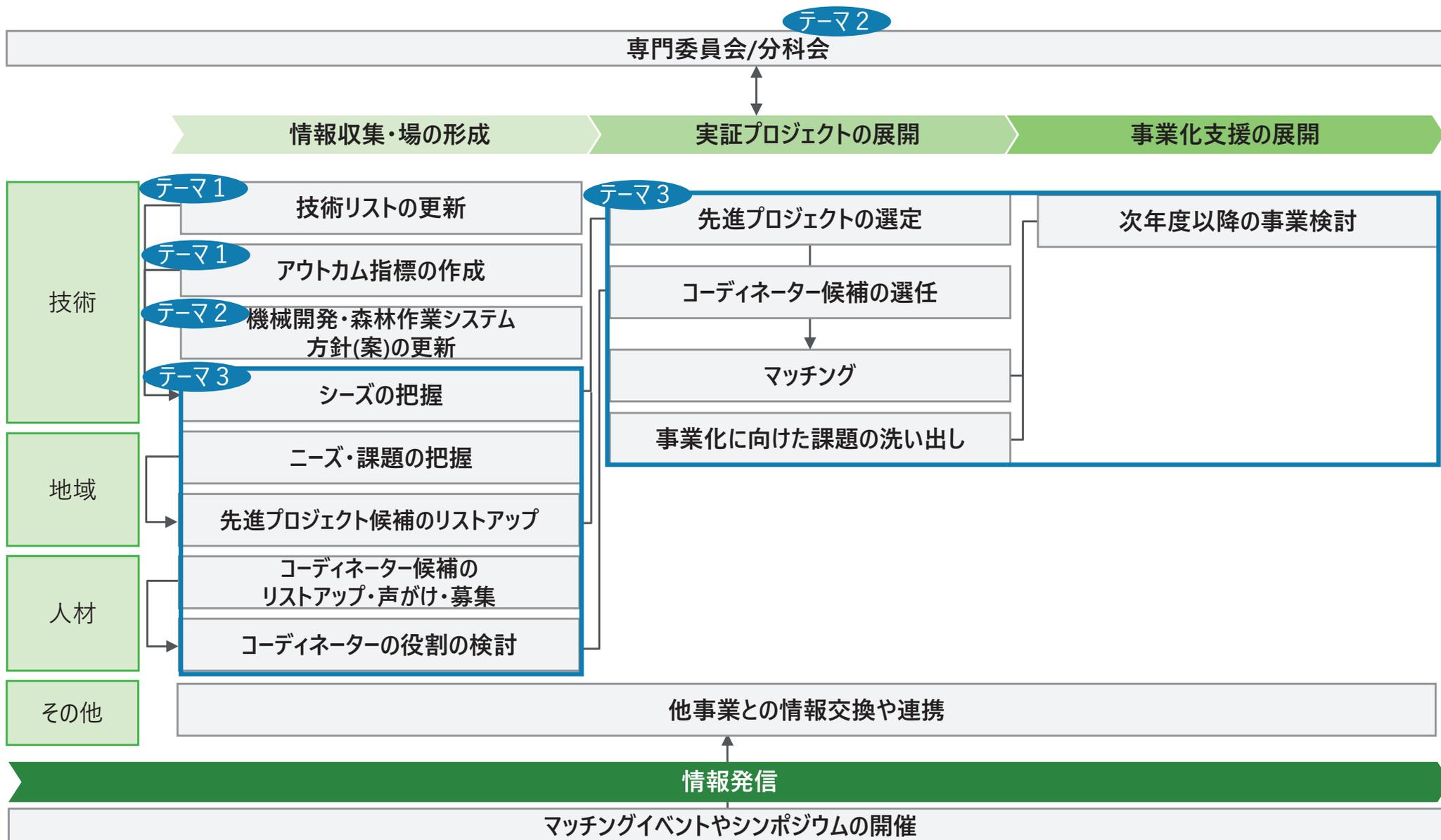
令和4年度事業では、あるべき姿の実現に向け、支援機関としての体制の構築とモデルとなる先進事例の創出に注力し、事業の枠組みを確立します

支援機関としての森ハブの構築に向けたステップ



令和4年度事業ではエコシステムの間を形成するプレイヤーである技術・地域・人材の情報収集を行い、先進的なモデルとなる事業を選出し、実証・事業化に向けた支援を行います

令和4年度事業の全体像



2. 専門委員会の実施概要

専門委員会では、昨年に引き続きイノベーション推進のための先進技術方策等の検討に関して、専門的・分野横断的・俯瞰的知見からご助言いただくことを想定しております

専門委員会の実施概要

専門委員会の役割・意義

- イノベーション推進のための先進技術方策等の検討に関して、専門的・分野横断的・俯瞰的知見から助言・支援を行う
- 諮問機関として実施事項の評価・検討を行い、事業の方向性の調整等を行う

実施内容・活動計画

- 実施した調査・分析の結果の報告・説明を事務局から実施し、先進技術導入の妥当性や効果の大きさ、導入コスト等について精査し、方向性等を取りまとめる
- 委員からの助言をふまえ、事務局は追加調査や成果物の修正等を実施する
- 必要に応じ、マッチング候補地等の視察を実施する

会議日程・場所・開催方法

- 委員会は全4回実施する
- 委員会資料は、会議開催前に事前にメールにて各委員に共有する
- 委員会は、原則対面での開催を想定し、日程に応じた柔軟な対応ができるよう、原則東京都内にあるトーマツ会議室の利用を想定し、新型コロナウイルス等の影響をふまえ、適宜オンラインの活用も検討しながら実施する

全4回の専門家委員会では進捗報告を行うとともに、実施予定事項についても共有し、確認・意見の場を設けることで、専門的な知見を反映した業務推進に繋がります

専門委員会の進め方

	【第1回委員会】 年度実施方針の確認・検討	【第2回委員会】 マッチングに向けた検討	【第3回委員会】 次年度支援体制の検討	【第4回委員会】 次年度事業内容の検討
ゴール	実施方針について 大枠の了承をもらう 技術・人材候補リストの 確認・助言をいただく	マッチングに向けた 技術・地域・人材の 検討方針の 確認・助言をいただく	マッチングの進捗を共有する 次年度以降の 事務局の支援体制に ついて検討する	結果のとりまとめ方針について 確認・助言をいただく 次年度以降の 事業方針について検討する
実施事項	<ul style="list-style-type: none"> 年間の実施方針の確認 技術リストのアップデート方針の確認 機械開発・林業作業システム方針（案）のアップデート方針の確認 分科会実施要領の報告 地域ニーズ調査・技術シーズ調査の報告、候補リストの確認 コーディネーター人材の候補リスト確認 	<ul style="list-style-type: none"> 事業進捗共有 技術シーズ候補へのヒアリング実施結果の共有 地域ニーズに沿った候補地域の確認 コーディネーター候補へのヒアリング実施結果の共有 	<ul style="list-style-type: none"> 事業進捗共有 マッチング結果の共有 技術・地域・人材の決定スキームの評価・検討 次年度以降の事務局支援体制・人材育成方針の検討 	<ul style="list-style-type: none"> 事業進捗共有 技術リストの最終確認 機械開発・林業作業システム方針（案）の最終確認 マッチング結果の共有 次年度以降の事業方針の検討 情報発信イベント情報の共有
留意事項	✓ 候補リストに対し、専門的な知見、ネットワークを活かした追加・修正をいただく	✓ ヒアリングを通じて得られた知見を共有し、マッチングに向けた助言をいただく	✓ 令和4年度のマッチングの評価を行い、事務局の運用スキームを確立する	✓ 年度事業の結果を取りまとめ、次年度事業方針の了承を得る
日程	7月	9月	10月予定	12月予定

3. 実施スケジュール

専門委員会をマイルストーンとし、各タスクの推進・調整を行います

